

日本カトリック障害者連絡協議会 主催
第13回研修セミナーに参加しての感想

【内容について】

英神父様のご講演は福音の核心に触れるとても素晴らしいものでした。相模原障害者殺傷事件を発端にして私どもプロテスタントの教会でもこの問題をキリスト者としてどのように捉えるべきか、教派を越えて論議してきました。この度、英神父様から明確な回答を得ることができて本当に嬉しく思いました。

しかるに考えてみますと、この事件を通して私たちひとりひとりの持つ弱さ（優性思想）が浮き彫りにされ、それに対抗する主イエスが立っておられるということ。この弱さと闘うことを通して、分かれ分かれになった教団教派のキリスト者がひとつになれたこと。これは大いなる恵みであったと思います。

これからも優性思想に対抗すべき、皆さまの活動に期待します。私自身も置かれた所で活動を続けて参りたいと存じます。

【スタッフの皆さま】

研修会の3時間の間、OHPにキャプションを打ち続けて下さったスタッフの皆さま、手話通訳の皆さま、またそれぞれに弱さがありながら前もってご準備をされていたスタッフの皆さま、協力し合って素晴らしいなと思いました。私どもの教団ではなし得ないことです。やはり、積み重ねて来られたカ障連の働きの中で主が召して下さった方々だということを感じました。本当にお疲れ様でした。

【南山学園研修センターについて】

駅からも近く、聖堂、また研修センターも素晴らしい所ですね。私自身幼稚園が松山聖母幼稚園出身ですからマリヤ像は聖母子像、懐かしく見させていただきました。飛行機を使うと愛媛からでも日帰りができることも分かりまして、益々、行動範囲が広がりそうです。笑

【最後に】

江戸会長さんが松山（愛媛）出身ということでとても嬉しく思いました。お里帰りされた時には、ぜひ伊予キリスト教会にお越し下さいね。皆さまもぜひ、近くにはカトリック伊予教会もごぞいます。来年の横浜大会が祝されますようお祈りします。（文章の中でプロテスタント特有の表現がありましたらお赦し下さいね。）

日本アライアンス教団

伊予キリスト教会牧師 岡本やよ